

昭和



議会だより

第

67

号

平成25年4月15日 3月定例会

〈群馬県昭和村議会〉



2・3 平成25年度予算

4・5 3月定例会で決めたこと

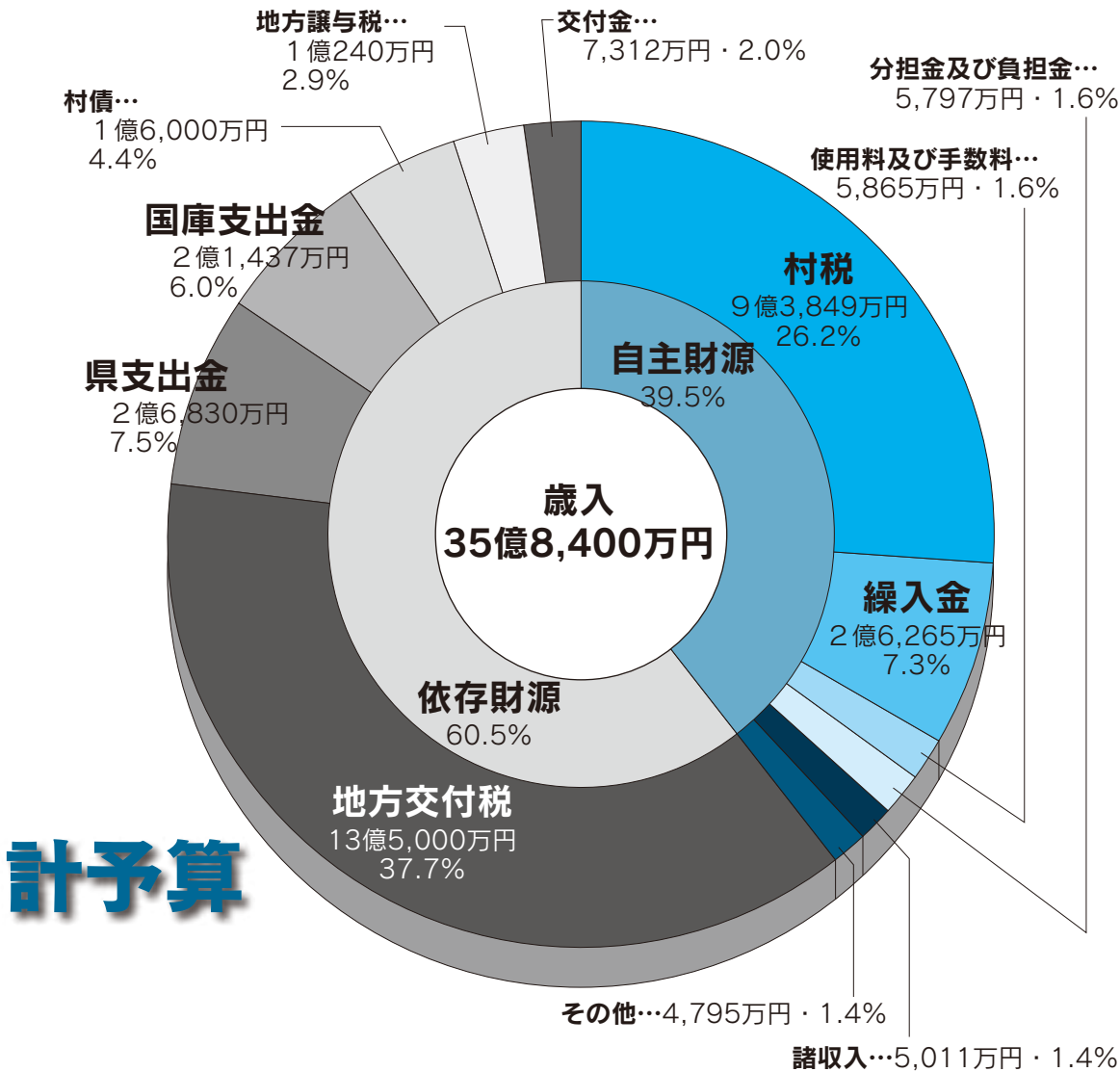
8～12 村の姿勢を問う

14 あの問題は今…

15 みんなの声

づくりを目指して

平成25年度一般会計予算、5つの特別会計予算が提出され、全て原案のとおり可決しました。なお、今回は、予算額の万円未満を四捨五入したため、必ずしも合計額と一致しておりません。



歳入

村税は、固定資産税が工場増設、新築家屋の増による増額が見込まれるが、個人住民税は、景気の低迷により減額が見込まれます。これにより、対前年度比は173万円の減額です。

歳入総額に占める自主財源の割合は、39・5%、依存財源は、60・5%となりました。今後も、自治体を取り巻く環境には厳しいものがありますが、常に健全な財政運営が必要です。

計予算

今年度の新たな事業

総務課

- ・ポンプ操法競技大会用小型ポンプ車購入
- ・公有財産管理システム導入(電子化)

企画課

- ・村政要覧等作成

保健福祉課

- ・福祉センター施設改修

産業課

- ・「燃やせるごみ指定袋」販売価格を減額

建設課

- ・橋梁長寿命化修繕計画策定

教育委員会

- ・大河原小学校大規模改造設計調査
- ・多目的屋内運動場 人工芝張替工事

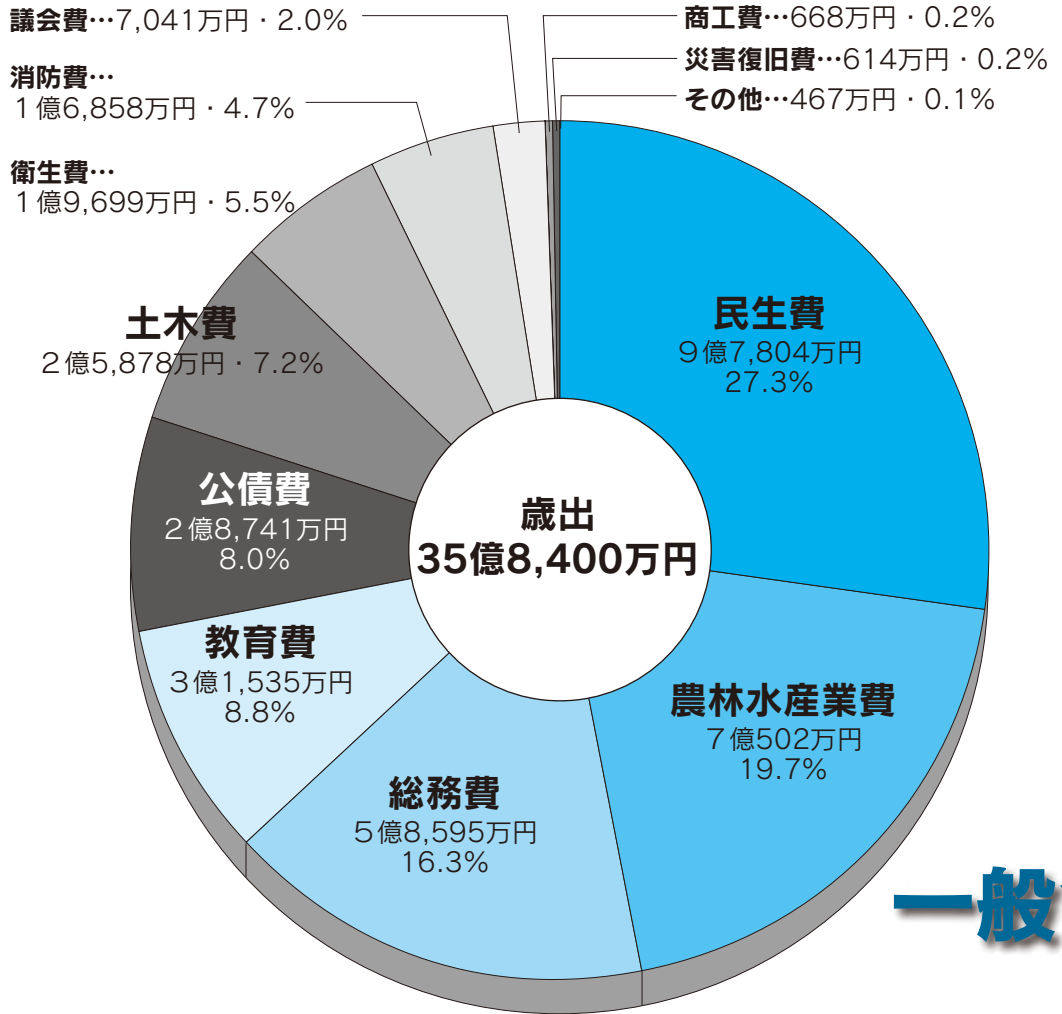
平成25年度
予算

安心・安全な村

歳出

国営赤城西麓土地改良事業に伴う返済金(改良区ルート)、関屋工業団地企業誘致奨励金事業が終了しました。

これにより、燃やせるごみ指定袋が半額となり、集落内道路維持管理費、道路舗装費が増額となり道路面の凹凸が改修されます。また未来を担う児童のために大河原小学校の大規模改修に向けての調査設計費が計上され、地域密着型の予算編成となりました。しかし、財政状況の厳しさは変わりなく、引き続き財政健全化に努めなければなりません。



一般会

予算総額 **58億8,556万円**

特別会計予算

(前年度比0.1%増)

総額 **23億0,156万円**

国民健康保険特別会計	10億6,599万円	(1,559万円増)
簡易水道事業特別会計	1億2,913万円	(2,315万円増)
農業集落排水事業特別会計	3億3,000万円	(400万円増)
介護保険特別会計	6億9,989万円	(3,758万円増)
後期高齢者医療特別会計	7,655万円	(▲379万円減)

(カッコ内の数字は前年度比)

3月 定例会 で決めたこと

3月定例会は、3月6日から15日までの10日間の会期で開催されました。初日に村長から行政報告を受け、条例の制定6件、条例の一部改正4件、補正予算6件、平成25年度一般会計及び特別会計予算など合計25件について提案理由の説明があり、最終日に質疑、討論、採決を行いました。また、発議2件が議員提案され、いずれも原案どおり可決しました。

条例の制定

新型インフルエンザ等対策本部条例の制定

新型インフルエンザ等緊急事態宣言が発令されたときには、直ちに対策本部を設置することになりました。
(全員賛成)

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定
国が定めている高齢者施設

設や介護サービス事業の設備基準、運営基準等について、地域の実情に応じて条例で規定するものです。
(全員賛成)

道路構造条例の制定

「道路法第30条」が改正され、これまで国で定めていた道路の構造に係る技術的基準を条例で定めることになりました。
(全員賛成)

道路標識条例の制定

「道路法第45条」が改正され、村が管理する道路の案内標識や警戒標識、これらの補助標識の寸法や文字の大きさについて条例で定めることになりました。
(全員賛成)

移動等円滑化のために必要

な道路の構造に関する基準を定める条例の制定

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の推進に関する法律第10条」が改正され、歩道等や立体横断施設、乗合自動車停留所、自動車駐車場など独自に基準を定めるものです。
(全員賛成)

条例の改正

緊急告知FMラジオ設置事業分担金徴収条例の一部改正

現在、一台目2500円
二台目以降8400円
改正後
二台目以降2500円
(全員賛成)

福祉医療費支給に関する条例の一部改正

引用している「障害者自

立支援法」が「障害者総合支援法」に改正されたことによるものです。
(全員賛成)

小口資金融資促進条例の一部改正

小口資金の返済負担軽減策として実施している借り換え制度や借り換え条件の緩和が継続され、また平成24年度以前に受けた融資の期間について最長で3年間延長できることになりました。
(全員賛成)

簡易水道事業給水条例の一部改正

「水道法」が改正され、水道布設工事監督者の配置基準や資格基準、水道技術管理者に必要な資格基準について、条例で定めることになりました。
(全員賛成)

その他

**村道路線の認定
村道路線の廃止**

県が実施した入沢地区砂防工事により、路線の起点、終点に変更が生じた入沢7

国保給付費増で一般会計から 8,000万円を繰出し

号線外5路線の村道認定・廃止を行うものです。
(全員賛成)

和解及び損害賠償額の決定

村道において、車両を破損させたことにより、修理代を支払うものです。
(全員賛成)

発議

議会会議規則の一部改正

本会議においても、委員会同様、公聴会の開催や考人の招致ができることになったための改正です。
(全員賛成)

環太平洋経済連携協定(TPP)交渉参加断固反対に関する意見書

本村は、こんにゃく芋の生産量日本一を誇り、また首都圏への生鮮野菜の供給基地であることから、農業を守るため、内閣総理大臣や衆・参議院議長、関係大臣宛に意見書を提出するものです。
(全員賛成)

平成24年度 補正予算

一般会計補正予算(第7号)

歳入・歳出2,161万8千円を減額し、総額を38億4,664万8千円とするもの。(全員賛成)

【主な歳出】

事業所設置奨励金	1,000万円減
国民健康保険税減額分繰出金	8,000万円増
農道保全対策事業負担金	2,500万円増
除雪作業費	3,000万円増
社会体育館耐震補強及び改修工事实施設設計委託料	683万円増



国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入・歳出5,707万7千円を追加し、総額を11億5,039万4千円とするもの。(全員賛成)

【主な歳出】

一般被保険者療養給付費	3,674万1千円増
退職被保険者等療養給付費	700万円増
後期高齢者支援金	677万3千円増
療養給付費等負担金精算返納金	802万8千円増

簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

歳入・歳出29万6千円を追加し、総額を1億2,801万8千円とするもの。(全員賛成)

【主な歳出】

県営基幹水利施設(赤城北麓)ストックマネジメント負担金	77万円増
-----------------------------	-------

農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

歳入・歳出2,551万7千円を減額し、総額を3億600万円とするもの。(全員賛成)

【主な歳出】

処理施設維持管理委託料	350万円増
汚泥仮置場整備工事費	800万円減
新規施設管路工事費	400万円減
浄化槽設置工事費	2,300万円減

介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入・歳出333万7千円を追加し、総額を6億7,539万3千円とするもの。(全員賛成)

【主な歳出】

介護サービス等諸費	1,655万8千円増
介護予防サービス給付費	1,903万3千円減
特定入所者介護サービス費	624万9千円増

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入・歳出415万6千円を減額し、総額を7,618万5千円とするもの。(全員賛成)

【主な歳出】

後期高齢者医療広域連合納付金	354万円減
----------------	--------

※操出しとは、一般会計と特別会計、または特別会計間で支出されること。

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

全会一致で新年度予算を可決

3月12日に総務民生常任委員会を開催し、付託された陳情等についての現地調査や、障害福祉サービス多機能型事業所「星夜の森学舎」等の現地視察をし、その後、審査を行いました。

3件の請願等を審査

「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を求める意見書の採択に関する陳情では、全国で年

間自殺者が3万人にも上り、320万人超の人々が精神疾患のために医療機関で受診しているとのことです。そこで、こころの健康を国の重要施策と位置付け、基盤となる法律の制定を求めるといった内容ですが、さらに内容について検討する必要があることから、全会一致で継続審査としました。

るものの、少子高齢化社会の中で、国の財政を考えた中での判断が必要であるとのことから、賛成多数により趣旨採択としました。



田岸地内の消火栓設置要望箇所を調査



星夜の森学舎について説明する大竹施設長

年金2・5%削減の中止を求める意見書の請願では、年金の削減と消費増税時期が重なり、高齢者の生活が苦しくなることから、内閣総理大臣宛て中止を求める意見書の提出をお願いするといった内容です。これについては、介護保険料など負担も重く、趣旨は理解でき

田岸地内消火栓設置についての陳情では、当該地域は消火栓が少なく、有効範囲である120坪からはずれており、付近は人家も多いため、道路舗装の前に設置すべきことから、全会一致で採択としました。

企業誘致奨励金が終了
平成19年度から関屋工業団地に進出した企業に支出してきた事業所設置奨励金等が、24年度（8297万1千円）をもって終了となりました。
また、新年度は、村勢要覧の作成や第二保育園への遊具の設置、ポンプ操法競技大会用の小型ポンプ車購入などが予定されています。

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

計画的な村道整備を要請



村道糸井赤西40号線を調査

3月13日に文教産建常任委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。「村道糸井赤西40号線道路舗装工事」の請願について、現地で提出者等の説明を受けた後、審査を行いました。当村道は、水はげが悪く、豪雨時には路面が流出し、雪解け時には路面が軟弱になり、通行に支障を来している状況であるため、全会一致で採択としました。また、村内には、こうした状況の箇所も多く、今後、計画的な整備をするべきとの意見が出ました。

その後、平成25年度一般会計予算、特別会計予算のうち付託された案件について審査を行いました。

大河原小大規模改造へ

一般会計予算においては、新年度、「燃やせるごみ指定袋」の価格が半額となります。国営赤城西麓土地改良事業の改良区ルートへの負担金が24年度(810万1千円)で終了しました。また、鳥獣害防止施設工事費や村道等の補修費が増額となります。教育関係では、築32年が経過した大河原小



農業体質強化基盤整備促進事業で改修した桂坂板戸線

学校の大規模改造設計委託料が予算計上され、多目的屋内運動場の人工芝張替工事が行われます。工期中は使用できませんが、完成後は安心して使用できるようになります。学校給食の現況についての説明を受け、アレルギ対策等安全に努めるようお願いしました。慎重審議の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

特別会計は全会一致で

簡易水道事業特別会計予算では、東部簡易水道の「膜ろ過モジュール」交換等の修繕料、老朽化に伴う水道施設監視システム更新のためのリース料などが増額されます。また、農業集落排水事業特別会計予算では、電気料の値上げや計画的修繕を進めるための修繕料などが増額されます。これらについて、審議した結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

一般質問

子育て支援おむつ給付を



加藤 生 議員

問 乳幼児へ誕生からの24ヶ月おむつ給付事業を進め、子育て支援の拡充をしていただきたい。

答 村 長

おむつ給付については実施しなかったんですが、予算計上出来なかったので今後実現出来るように研究していきます。

6次産業化法事業の推進を

問

6次産業化法は農家が新たな商品開発、販路の拡大などにより所得の増大につながり農林漁業による雇用の創出等、村の活性化と持続可能な発展のためにあると思います。

そこで、さくら工房などへの機械の買い換えを支援、また新たな商品開発のため減圧乾燥機による、ドライフルーツ生産支援や役場係に6次産業係を新設する考がえはあるのかお聞きしたい。

答 村 長

村としては6次産業に取り組む事業主体があれば、村として支援、協力を検討したい。また、村独自の支援は、県の指導をいただきながら検討したい。機械については、使い勝手、老朽化等を調査し今後改善を進めたい。また、6次産業係の設置は6次産業化の推移を見守りながら体制を含め検討したい。



子どもは社会の宝

あぐりーむ館・旬菜館の今後の運営は

問 道の駅あぐりーむ館では食堂と売店が一つ建物の中に混住し、双方の利用者が自由をきたしている様に感じられるが新たな建物を考えているのかお伺いしたい。

農産物直売所株式会社みずほの長谷川社長の理念は全国約1万7千箇所ある農産物直売所は「ブ

口の農業経営者が農産物の品質を競い再生産出来る価格で商品を販売する舞台、本物を求めるお客さんとの出会いの場である」と言っています。

村長としての旬菜館の運営と今後の目指すべき運営方針について伺いたい。

答 村 長

スタートして2年目です。ありますので、新しい建物については十分検討しないとその先に進めない

と思っております。今の段階では考えておりません。

旬菜館の使用者の皆さんの意見を聞き問題解決に努めたい。「新鮮」「安全」「安心」な良い野菜・加工品を出荷が旬菜館使用の大原則関係各位の意見を聞き旬菜館の進むべき道を見極めたい。



さくら工房と商工会が入っている「あぐりーむ館」

姿勢問う

道路の安全対策の確保を



星野 吉一 議員

問

道路側の木が大きくなり、通行に危険な場所がある。地区での伐採などは、地区外の所有者が多く同意を得るのが大変である。道路側の畑の土等が出て白線が見えない場所があるが、村が中心になって安全対策をすることはどうか。

答 村 長

道路側の竹木等は、所有者に責任が問われることもあるので、危険であ

る旨を早く知らせ、より迅速に対応をお願いします。又地域の要望を聞き、一步一歩進めています。地区外の問題については十分調査をしてお願いをしていきたいと思

います。畑の土が出て外側線が見えないのは、耕作者のモラルが問われる問題でもあり、広報紙等で周知するとともに、各区長さんや農業委員さんと協力しながら今後検討して参ります。

昭和の森ゴルフ場・山荘の今後の方向性は

問

昭和の森ゴルフ場・山荘の経営は大変だと思うが内容はどうなっているのか。ゴルフ場では客の減少又山荘では施設老朽化等で改修費が重なるが、今後の長期的な計画は。

答 村 長

ゴルフ場、山荘は指定管理者としてグリーンスコア(株)が管理運営をし

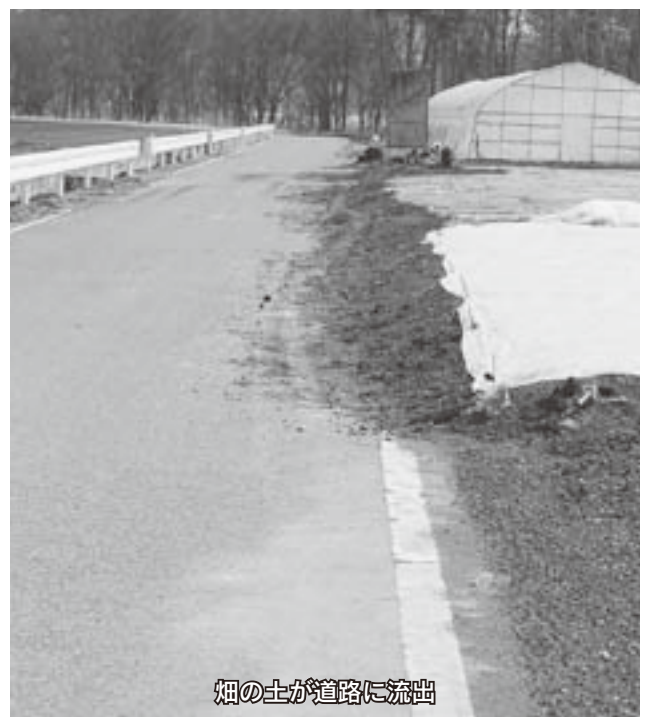
ています。経営状況は平成22年度がマイナス239万円、23年度はマイナス683万円です。主な要因は、利用客の減少です。

山荘は村にとって唯一の宿泊施設として重要であり、観光拠点、情報発信基地としての役割を發揮し、雇用促進、地域活性化の役割を担う施設として、新たな事業展開と

経営努力をして頂き、25年の更新時に検討していきたい。施設は予算がとれないというなかで、必要最小限の改修でご理解を頂き、今後検討して参ります。



眺望抜群の昭和の森ゴルフ場



畑の土が道路に流出

一般質問

森林公園整備の推進を



兵藤 喜孝 議員

問

これからの村づくりを考える中で、とても大切な場所がある。それは、赤城山に続く森林地帯で、周囲の山々が一望でき、すばらしい景観を持つ赤城高原交流ゾーンである。そこには、横浜市少年自然の家赤城林間学園や、千年の森サッカー場、昭和の森ゴルフ場・山荘などがあり、年間、宿泊も含め、村内外から多くの方々が来られている。しかし、村の活性化に活かしきれないのが現実である。村においても、重点箇所として位置付け、このエリアを一带として考えて、より一層、魅力のある場所になるように、関係団体と協議して、森林の保全を考えた森林公園整備の推進を図るべきと考えるが。

答 村 長

横浜市少年自然の家赤城林間学園周辺や、昭和の森ゴルフ場・山荘、また千年の森サッカー場周

辺は、第4次総合計画の土地利用基本構想の中で、赤城高原交流ゾーンとして位置付けられており、自然や農業環境との調和を図りながら、観光・交流ゾーンとして、整備を図ることとしています。また、赤城高原交流ゾーンには、森林ゾーンと重なる場所もありますが、このような場所は、森林ゾーンの構想である国土保全や水源かん養、保健休養、潤いのある景観形成などの考え方も採り入れた整備が必要です。

現状では、県の森林整備事業やボランティア活動などにより整備を進めています。やはり、点だけでなく線でつないでいくことが大切だと思います。まだまだ、多様な活用や取り組みができると思っておりますので、交流のある都市やボランティアの方々とは協議をし、協力し合いながら整備していきたいと考えています。



赤城高原交流ゾーンにある千年の森サッカー場と赤城林間学園

姿勢問

村ぐるみでTPP反対運動を強化すべき



林 幸司 議員

問

日米共同声明で関税撤廃が原則と確認された。世界で10億人が飢餓に苦しみ、地球的規模で食糧不足が深刻化するなか、日本農業をつぶしてまで輸入依存を強めることは途上国の食糧を奪う犯罪行為と同じこと。

村ぐるみの反対期成同盟など、運動を強化していくべきだ。見解と対応や対策を伺いたい。

答 村 長

国民の理解が得られていない状況での交渉参加への判断は、誠に遺憾であると考えます。

自民党の多くの国会議員が反対を訴えて政権復帰したのに、政府の判断だけで参加することは、ごまかしであり許されるものではありません。

今後は、機会ある毎にTPP断固反対を訴えることはもとより、各種農業団体等関係機関と相談し、断固反対への対策に取り組んで参ります。

村長の公約、保育料無料化の実現を

問

先進国では当然の幼児教育無償化を、国も検討しているなか、村長の公約実現を切に願う立場から、県内の現状や見解、どのように公約を実現されるのか伺いたい。

答 村 長

県内2町村が完全無料化を、15町村が3子以降無料化等を実施しています。

子ども達の健やかな成長を保障することは、将来のためにも大変意義深いと考えています。国の動向を把握し、財政状況の慎重な検討を踏まえて対応していきたいと思

います。

脱原発へ、エネルギー自給率の向上を

問

村内2カ所目のメガソーラー計画への対応は。国や県と同様に推進計画、推進体制を整備し、エネルギー自給率100%の村づくりへ、村事業としてメガソーラーや公共施設への太陽光発電の設置を推進するよう求める。

答 村 長

追分地区の山林15・5畝にメガソーラーと農地造成を行う開発事業構想協議書が提出され、雪解け後に現地調査を行い、可否について検討したいと思

います。自給率向上については、



第3子以降の保育料無料化は継続

県が示す電源群馬プロジェクトに添って検討してまいりたいと思

います。

千年の森に続いて、残りの工場用地について、メガソーラー誘致を含め検討して、公共施設については、経費や施設状況を確認して検討していきたいと思

一般質問

スポーツにおける指導方法は



横坂 先夫 議員



問

中学での部活は団体的教育活動だが、指導者も、指導してもらおう生徒も、間違いが起きてからでは遅いので、しっかり指導者の教育もしてほしいと思うがいかがか。

また、一般やスポーツ少年団のスポーツクラブは、どのような立場の人が指導しているのか、お聞きしたい。

答 教育長

指導にあたる顧問教師は、必ずしもその競技の専門性を有するとは限りません。そこで、外部指導者を活用する場合は、昭和中学におきましては、昭和中学校部活動外部指導

者規定というのをつくっております。学校の教育活動の一環として行われる部活動においては、技術的、人格的にすぐれている者を部活動の指導者として迎え、顧問の指導のもとで、主に生徒の技術的指導の助言に当たるというような目的で設置されています。

一般のスポーツクラブ、スポーツ少年団については、主に地域の経験者や団員の保護者が指導に携わっています。特にスポーツ少年団の指導者は、団体への登録、県の認定指導員の必要性が求められており、社会人スポーツでは経験者が中心となっています。

みなさんからの請願・陳情

自 平成25年2月14日 至 平成25年2月27日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
43	H25. 2.14	請願書 村道糸井赤西40号線道路舗装工事のお願いについて	受益者代表 加藤 幸市	加藤 生茂 角田 生茂	文教産建	採択
44	H25. 2.20	「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の制定を求める意見書の採択に関する陳情書	NPO法人こころの応援団 代表 千代田 すみ子		総務民生	継続審査
45	H25. 2.25	年金2.5%削減の中止を求める意見書の請願	全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長 女屋 定俊 利根支部長 林 マツ	林 幸司	総務民生	趣旨採択
46	H25. 2.27	陳情書 田岸地内消火栓設置についてのお願	田岸区長 横坂 先夫 第8分団長 奈良 浩		総務民生	採択

TPP交渉参加断固反対を要望

4月2日、環太平洋経済連携協定（TPP）交渉参加断固反対に関する要望のため、東京都千代田区永田町にある衆・参両院議員会館を訪問しました。

これは、安倍首相が3月15日に、TPPの交渉に参加することを正式に表明したことを受けて実施したものです。

この日は、村長、議員全員、農業委員17人が参加。2班に分かれて、群馬県選出の国会議員10名や前横浜市長の中田宏衆議院議員、前橋女子



佐田玄一郎衆議院議員に要望書を手渡す



上野ひろし衆議院議員にTPP反対を要請

高校出身の中山恭子参議院議員の事務所を訪ね、要望書を提出してきました。

要望内容は、①TPPに関する6項目の公約を守り、本村の特産物である「こんにやく芋」の除外が担保されない限り、TPPへの参加をしないこと。②TPP交渉にあたって、国益を損なうことが明確となった場合、即座に交渉参加から撤退すること。以上2点について、政府に対し、強く働きかけていただくよう、要請しました。

議会の動き

1月

15日 ● 広域圏定例議員協議会
定例議長会
新年懇話会

17日 ● 群馬県市町村トップセミナー

25日 ● 学校給食試食会
議会全員協議会

2月

3日 ● ビンボンフェスティバル

5日 ● 景観学習会

9日 ● ウィンターフェスティバル2013

14日 ● 定例議長会
利根沼田学校組合議会議員協議会
広域圏定例議員協議会

15日 ● 利根沼田地域県政懇談会

16日 ● 生涯学習大会

20日 ● 県町村議会議長会定期総会

21日 ● 利根沼田広域圏議会定例会
利根沼田学校組合議会定例会
沼田市外二箇村清掃施設組合議会定例会

22日 ● 議会全員協議会

26日 ● 簡易水道運営協議会

27日 ● 緊急告知FMラジオ運営協議会

28日 ● 議会運営委員会
議会広報編集特別委員会

3月

6日 ● 第1回昭和村議会定例会
本会議（初日）
議会全員協議会

7日 ● 議会全員協議会

8日 ● 議会全員協議会

11日 ● 議会全員協議会
本会議（第2日）

12日 ● 総務民生常任委員会

13日 ● 昭和中学校卒業式
文教産建常任委員会

15日 ● 本会議（最終日）

18日 ● 議会広報編集特別委員会

19日 ● 「やさい王国 昭和村」フォトコンテスト実行委員会並びに審査委員会

21日 ● 家族経営協定調印式

23日 ● 村内保育園卒園式

25日 ● 村内小学校卒業式

26日 ● 議会全員協議会
議会運営委員会

28日 ● 議会広報編集特別委員会
良い歯の子と育てた家族の表彰式

4月

1日 ● 消防分団会議
消防委員会

2日 ● TPP交渉参加断固反対に関する
要望書提出（国会議員会館）

5日 ● 村内保育園入園式
議会広報編集特別委員会

8日 ● 昭和中学校入学式
村内小学校入学式

9日 ● 塚越仁慈先生油絵展及び東京都庁見学

10日 ● 玉村町議会交流会

12日 ● 昭和村太陽光発電所地鎮祭

13日 ● 村の木「さくら」記念植樹

15日 ● 定例議長会
広域圏定例議員協議会
利根沼田春季行政懇談会

問

沼田街道は江戸時代の会津、三国街道に通じる重要なルートとして賑わい、その宿場、森下宿の歴史を伝える案内板等の設置について、計画はあるのか。

答

沼田街道の案内板等の設置については、歴史的、文化的な資産、史跡ツアーコースなどの可能性を含め、関係機関のご意見を聞きながら検討していきたい。

その後

25年度予算で、沼田街道・森下宿の案内板設置予算を計上し事業を具体的に進めていきます。

同時に村内石仏調査を行うことで、当時の街道の道筋が浮かんでくるものと思います。

これを期に村内の皆さん、そして多くの人々が訪れるような期待感も高まり、当時を振り返る場所ができることを期待します。

沼田街道は…

江戸より中山道を通り、前橋から利根・沼田方面に向かう道筋であり戦国時代には軍用道路として、江戸時代には沼田藩主の参勤交代路として、そして、物品等の搬出路としても重要な道筋でもありました。

その沿道には、沼田城の砦「長井坂城」「森下城」「阿曾城」があり、昭和村の戦国時代に北条氏と真田氏が争奪を繰り返した拠点を振り返る歴史的価値の高い史跡でつながっています。その街道に道標を設定することで時代を振り返るコースを歩き、訪ねることができ、昭和村の歴史を再発見することが可能となります。

さらに、当時宿場として賑わった「森下宿」を表示することで、道路沿線の家並み等に思いを浮かべ、昭和村の戦国時代から沼田城を起点とした時代の流れを振り返ることができます。



森下宿の今

人、物全てが往来した沼田街道の案内板等の設置を

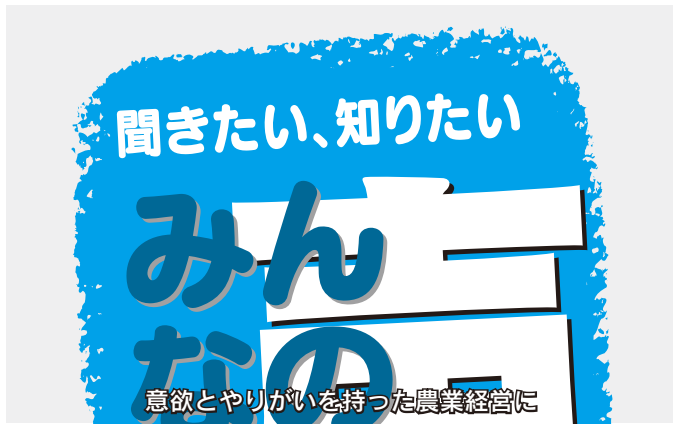
追跡
シリーズ 19

あの問題は



議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの請願や陳情は議会採択後、どのように処理されているのか。その後の経過を追跡します。

(平成23年6月定例議会一般質問)



昨年12月から活躍されている3名の女性農業委員の声を届けします。

農業委員になって



角田ゆり子さん
(南内出)

農業委員の話聞いた時は他に適任者が多くいるだろうと一度はお断りしました。一回目の会議に出席しましたが何もわからないまま一月が過ぎてしまった気がします。又女性委員だけの出席する会議が多いのにも驚きました。家族経営協定推進会議、男女共同参画推進会議、女性農業委員研修会などです。女性ネットワーク総会に出席して、その中で婦恋村農業委員の久保さんの「村を元気に自分達元気に」という講演を聞き、農業委員五期目と漬物加工などに大変努力なさっている事に驚きました。先日の、みなかみ町のホテルで行われた利根農業委員研修会に参加して、他の町村の委員さんと会話する機会がもて大変勉強になりました。我が家でもまだ家族経営協定を結んでおりませんので任期中には結びたいと思っております。

女性農業委員として



竹吉 信子さん
(赤谷)

昭和村女性農業委員に推薦して頂き、何も解らずに始まってしまいい毎日が勉強の日々です。研修会、女性ネットワークと参加し、その後、感想文提出と息つく間もなく、次の会議の日程が決まり目まぐるしい現在です。また委員の活動は人・農地プランや認定農業者、家族経営協定、農業者年金の勧めなどが主です。昭和村の委員さんは何と言っても全員が専業農家で元気な村！と胸を張って参加できる事がとても嬉しいです。パートナーシップを持つて魅力ある経営のお手伝いと、これからTPP問題が大きな壁となりますが、議員さん、委員先輩皆様のご指導のもとで、「日本でも美しい村、昭和村」がいづまでも繁栄を続けることが、私の祈念としますので、よろしくお願い致します。

男性の役割、女性の役割



真下喜美子さん
(森下上組)

女性農業委員でどんなことをするのだろうかかと男性が多い中で、三人で、とても重い気持ちで、初めての委員会に望みました。その中で「男女共同参画」「家族経営協定」と講演会、講習会を聞き、文字にすると、堅苦しいけれど、どこの家でも、良い作物・作柄を目標に、家で話し合い、畑で話し合い、知恵を出し合って経営をされていることと思います。「男女共同参画」は経営だけでなく、家の中のことも多いに、男性に参加して頂きたい。お互いが、いつまでも、元気でいられるために。年を重ねて来た時に、家の中の事、何でもわかり、まごつく事のないように。男性、女性の役割がある中で、理解と協力を大切にしたいと思います。最後に、議会だよりの編集に携わる方々のご苦勞に感謝致します。

地域でがんばる人

昭和村ボランティアガイドの会

会長 角田 勝美さん（椽久保南部）

この会は、平成二十一年四月、七名で発足しました。

村の見所を紹介したり、案内することにより、多くの昭和村ファンの拡大を図るべく、活動しています。

今までに、村を訪れた方々や昭和村ふるさと大使、村づくり協力委員、学校の生徒・先生方に村の歴史文化などを案内してきました。



鍛屋地吉墳公園を案内

昨年度からは、村民の方々にも村の歴史を再認識していただこうと、ふるさと歴史文化講座を開講し、今年度も実施しています。

また、村当局のご理解により、昨年六月からは「広報しようわ」で、村の歴史を紹介させて頂いています。

これからも、村や村民の皆さんのご理解を頂き、村が推進する観光産業の振興、景観を生かした村づくり、会員共々協力して参りたいと思いますので、よろしくお願いたします。

春の健康ちょことしレシピ

(昭和村管理栄養士 堤 梨紗)

材料(15cm丸型1個分)

クリームチーズ…100g、豆乳…80cc、プレーンヨーグルト…70g、砂糖…大さじ3(27g)、レモン汁…小さじ1、粉ゼラチン…5g、水…大さじ2、いちご…3~5粒、ビスケット…15枚

下準備

- ・クリームチーズを常温で柔らかくしておく。
- ・粉ゼラチンは水大さじ2に振り入れ、ふやかしておく。
- ・苺はへたをとり、すりおろす又はつぶしておく。

作り方

- ①下地を作ります。ビスケットを丈夫な袋に入れ、その上から麺棒で叩いて細かくする。少量の豆乳を加え、少し生地をしっとりさせ、型に敷きつめます
- ②ボールに常温で柔らかくなったクリームチーズ、豆乳、ヨーグルト、砂糖、つぶしておいた苺、レモン汁を加えて、よく混ぜ合わせる。
- ③ふやかしておいたゼラチンをレンジで約30秒加熱し、完全に溶けたら、②のボールに加え、混ぜ合わせる。その後、氷水にあてながら、とろみがつくまでさらに混ぜ合わせる。
- ④①に③を流し入れ、平らにし、ラップをかけ冷蔵庫に入れ1時間以上冷やし固める。



栄養価(1/8個分)

熱量…122kcal、たんぱく質:2.6g、脂質:6.0g、カルシウム:64g、塩分:0.2g

ワンポイントアドバイス

- ・豆乳とヨーグルトを使うことでカロリーダウン！大豆のクセのある臭いも気にならないので、子どもから大人までおいしく食べられます。大豆は栄養価が高く、血中コレステロールを減らすなどの良い働きをしてくれるので積極的にとってほしい食品です。
- ・クリームチーズが固く混ぜにくい場合はレンジの解凍モードで1分ほど加熱するとよいでしょう。

いちごのクリームチーズケーキ

編集室から

別れと出逢いの春
4月に入り、新年度が始まりました。

村では、魅力あふれる景観や風景を守り、次の世代に引き継ぐと共に、これらを生かした活力ある村を目指して、景観形成基本計画の策定に向けた取り組みを行っております。

景観づくりは、そこで暮らす住民の理解と協力が大切なことは言うまでもありません。息の長い取り組みだけに、住民と行政が互いに意志疎通を図りながら課題を詰め、進めていくことが肝心だと思います。

そして、「景観や風景は、なくなってしまうたらもう取り戻せない貴重な財産」との意識を共有し、自主的な精神に基づいた住民運動につながることを願います。

兵藤 喜孝 記

議会広報編集特別委員会
委員長 加藤 美昭
副委員長 兵藤 喜孝

委員

倉澤 俊雄 角田 茂
加藤 生 星野 吉一
山田 博昌 高橋 昇三
藤井 富夫